桃から生まれた

札幌医科大学医師会
札幌医科大学医学部
萬谷和香子（よろずやわかこ）

先日出産をした。予定日の１週間前だった。その日は上の子を保育園に預けた後、友人とお茶をしていた。帰宅後少し痛みが出現した。夫は江差出張のため不在で、上の子の陣痛の開始時ほど痛くないし規則的でもない。受診するか迷ったものの経産婦なので受診することにした。一人で荷物を持ってタクシーで病院に向かう余裕があった。「まだですねと帰されるかな」と考えていたが、受診すると「子宮口７cm開大」と言われて即入院。入院から３時間後に誕生した。夫と上の子は出産に立ち会うことができた（助産師さんが進行を調整してくれていた）。２歳児は、「赤ちゃんはどこから生まれたんだ？」と産後、砕石位の私の股をじっと眺めていた。命の尊さと誕生の奇跡が彼に伝わっただろうか。

初めての妊娠は、７週ほどで流産した。その子が私に残してくれたのは、桃アレルギーだった。それまで何の食物アレルギーもなかった私だが、桃を食べたあと口唇浮腫が出現し、剥離し、痛みと痒みが１週間くらい続いた。妊娠をきっかけに免疫は変化するようだ。その子のことは桃太郎と呼ぶことにした。生まれなかった桃太郎も大事な命として今も私の中に生きている。

次の妊娠をきっかけに、桃アレルギーは消失し、私は桃を再び食べられるようになった。代わりに、メロンアレルギーが出現した。先日私の股をじっと見ていたメロン太郎であるが彼は生まれる時、へその緒を三重に首に巻いて産まれてきた。元気に産声を上げたのが奇跡だと思う。メロン太郎はメロンが大好きで、メロンアレルギーではないようだ。

今回の妊娠で新たなアレルギーは出現せず安心していた。メロンアレルギーは消失し、メロンも食べられるようになった。しかし産後、りんごアレルギーを発症した。妊娠期間中は問題なく食べられていた。出産をきっかけに免疫が変化するパターンもあるようだ。大好きなりんごを食べると喉が痛くなる。試しにアップルパイを食べてみたが同じだった。悔しい。

そして産後初めて桃を食べた。美味しいと思ったのも束の間、直後喉の痛み、鼻水、目の掻痒感といった症状に襲われた。またしても桃アレルギーが再燃してしまったようだ。桃から生まれたアレルギーは生涯続くのだろう。桃太郎は私の中で生きているのだから。

メロン太郎が寝ているりんご太郎にちょっかいを出して泣かせている。そんな何気ない日々が尊い。

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。ぜひともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

１．原稿の締切

毎月５日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

２．原稿の体裁と字数制限

(1) 原則として横書きといたします。
(2) 引用文以外は、すべて常用漢字、現代かなづかいを使用してください。
(3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
(4) １回の掲載紙面は、原則として「学術投稿」は２頁、**「会員のひろば」は１頁**を限度とします。
医報１頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。
(5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

３．原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。

(1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
(2) 匿名の投稿
(3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
(4) その他掲載に支障がある内容

４．ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661　FAX 011-241-3090
E-mail：ihou@m.doui.jp